

東北紀行(その 1) いしかり乗船

池田良穂

ひさしぶりに太平洋フェリーの「いしかり」に名古屋から乗船しました。同船の建造に当たっては、太平洋フェリーの若い船長や日建設計のデザイナーの方々と地中海にクルーズ調査にでかけたことを懐かしく思い出します。2009 年のことでした。ベニス発着のエーゲ海クルーズで、ドブロブニク、サントリーニ、クシャダシ等を寄港する 1 週間クルーズでした。その成果をもとに、新「いしかり」はカリブ海風の先代とは違って、エーゲ海風の内装になりました。レストランの名前はサントリーニ。断崖の上にあるカフェからコバルトブルーのエーゲ海を眺めながら、いろいろと議論をしたことを思い出します。

さて、9 月 5 日名古屋の金城埠頭の太平洋フェリーの乗り場には、出港 1 時間半前の 17 時半に到着し、ターミナルで検温をしてもらった後、カウンターで発券してもらいました。ちょうど台風 10 号が勢力を増しながら、奄美諸島にかかりつつある状況にあったため、窓口では、「太平洋にでると揺れる可能性があるのでご承知置きを」と確認され、サインもさせられました。

今回は、東北の各地の内航客船を追うのには車が必須なので、車で行くことにして、ドライブバックというお買い得なチケットをインターネットで買いました。

キャビンはインサイドのツインでシャワー・トイレ付きの部屋にしました。夜に出港で、翌日の夕刻に仙台に着くまでの昼間の航海中は、見晴らしの良いインサイドプロムナードラウンジでくつろぎながら、シップウォッチングを楽しむことができるので、寝るだけならばインサイドでも十分だと判断しました。

乗船して部屋に荷物を置き、展望浴室で汗を流してから、レストラン「サントリーニ」に出かけました。バイキング式で、食事をとるときには、マスクを着用し、さらに手袋をするようにと指示がされました。料理をとる tong からの感染防止のためでしょう。

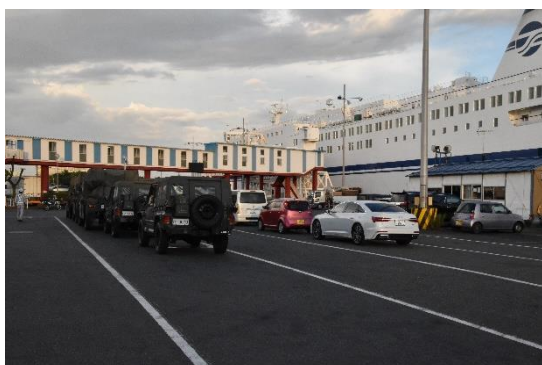
夕食も終わる頃、船は伊勢湾をでて太平洋にでました。とたんに台風のうねりを受けて、船は揺れ始めました。そして夜中には結構揺れました。

一夜明けて、船は房総沖を北に向かっていました。斜め後方からのうねりがあって、船は少しだけ揺れていましたが、天気も回復し、波も収まってきました。船上で、永田会員とばったり会いました。東京在住の永田さんは、名古屋から仙台まで乗船してすぐに東京に戻るとのことでした。

「いしかり」のレストラン「サントリーニ」では、朝、昼、夜にバイキング料理がだされ、夕食は 2200 円、朝と昼は 1100 円でした。結構な品数があり、デザートやドリンクもついているので結構お買い得感がありました。また、ロビーにあるヨットクラブでは、軽食や飲み物を購入してインサイドプロムナードの座席で食べることができます。

さて、本業のシップウォッチングの成果としては、時々貨物船や、PCC、そしてフェリーも遠望できました。ただ近接して、見られる写真が撮れたのは、NYK の PCTC と日通の RORO 貨物船「ひまわり 7」だけでした。後はバードウォッチングのように、遠くに行く船を双眼鏡で眺めるだけでした。14 時半過ぎには、恒例の僚船「きそ」との反航シーンを期待していたのですが、台風の影響で仙台発が欠航となったため写真を撮ることができませんでした。

16 時 40 分、定刻通りに「いしかり」は仙台港に入港しました。



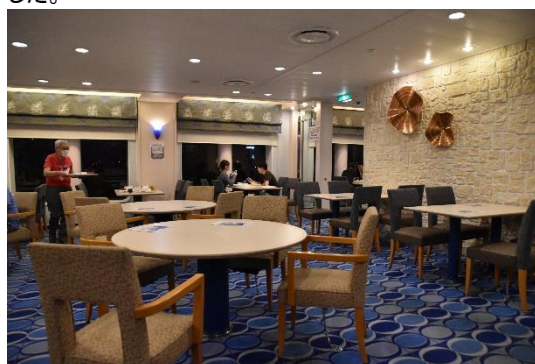
名古屋港に停泊する「いしかり」と、乗船を待つ車。



料理をとるときにはマスクと手袋着用を徹底していました。



レストランのバイキングコーナー。唾や咳が料理にかからないようにビニールシートが張り巡らされていました、



レストラン「サントリーニ」の内部です。



レストランでの夕食の一部です。



「いしかり」の航跡



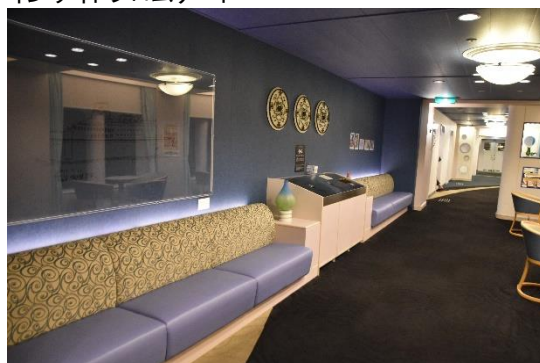
「いしかり」の煙突



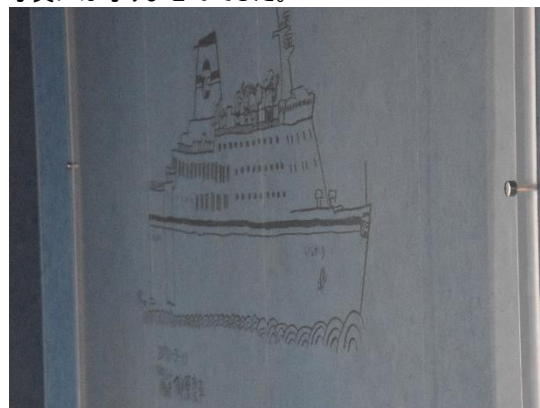
軽食と飲み物を販売する「ヨットクラブ」



インサイドプロムナード



インサイドプロムナードの壁に柳原良平さんが訪船時に描きたいしかりの絵がありましたが、光が反射して写真には写りませんでした。

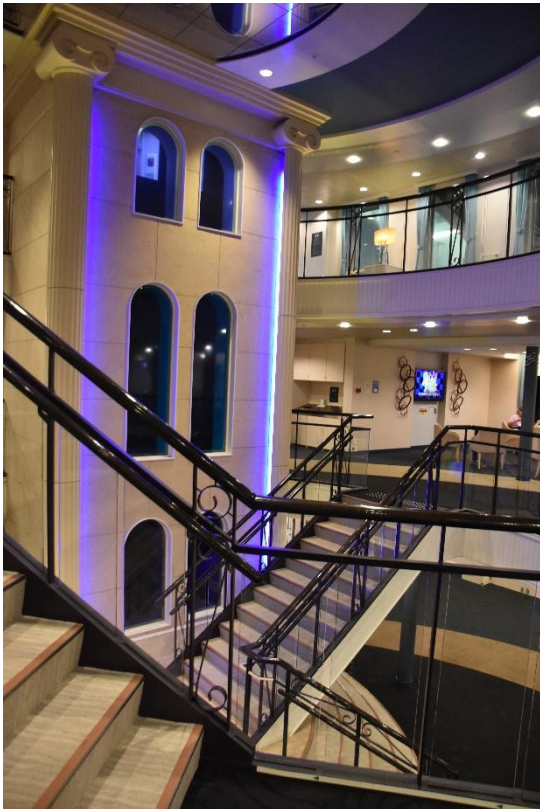


柳原良平画伯の絵をなんとか写真でわかるようにして撮影してみました。





公室の一角



3 層吹き抜けのエントランスロビー



PCTC のプルート・リーダーと反航しました。



PCTC のホリゾン・リーダーは、航路の近くをうろうろしていました。



日通の RORO 貨物船「ひまわり 7」と反航しました。



仙台港内に停泊している PCC です。



欠航のため仙台港に停泊していた「きそ」と、「いしかり」が着岸する岸壁を船上から見ました。



「いしかり」の車両甲板で下船を待つ乗用車です。



仙台港には、「きそ」(右)と「いしかり」が並んで停泊しました。